教育かわら版

こんにちは教育委員会です

ふたたび

No.１７０
令和４年７月１２日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

今こそ再び　学校力の高まりを

タブレットをはじめとした ICT の普及。情報モラルやセキュリティという前提はありますが、これらは教育現場でも日常になってきつつあります。授業中の検索、記録にドリル。タブレットに手書き入力した文字を活字で残したり、そのままの文字で残したり。教育は変わっていくと思います。

では授業はどうあるべきか。

それはやはり、special な４５分間、５０分間でなければ意味がなくなると思います。

指導技術が命です。私も教員出身ですが、社会的には教師以上にすごい知識や技術を持たれた方が多くいることはしっかり認識しています。では教師がどうしたら胸を張って生きていけるか。それは授業の指導技術に尽きます。生徒指導の的確さに尽きます。人間力。心に響く信頼関係。

そのためには授業が高いレベル（分かりやすい・力をつけてくれる）で成立していることが第一義なのだと考えてきました。それに管理職や事務官、養教さん、支援員さん、公務補さんたちがそれぞれの立場で職員や児童・生徒を支える。それが学校力だと考えています。

そう、今こそ再び学校力の高まりを。







教育委員・民生児童委員学校訪問がありました。うれしかったのは授業中の子どもたちの微笑ましいやりとり。丁寧で構造的な板書が多かったこと。学校長から発せられた「規律性」「スタンダード」「学校力」という言葉。お昼の放送では担当の子どもから「立腰」という声がけも･･･。

何よりも委員さんからいただいた「質の高い授業」「良い雰囲気」というお言葉。私もうれしかったですが、対応してくれた校長・教頭先生方も管理職冥利に尽きたのでは。うれしい一日でした。

最近ずっと考えています。タブレット時代の板書はどうあるべきなのか。一連の単元の流れはどう構成していくべきか。反転授業とまではいかなくても、子どもが主体的に学ぶという点で、予習して臨んだ授業がいかに分かりやすいと実感してもらえるか。現場の先生方にお願いするしかないのですが。やっぱり授業って面白いと思う。学校って良いと思う。教師って良いと思う。

昨日は町の成人祭実行委員会でした。やっぱり教え子に会うっていい。うれしい。こちらの勝手な片思いかもしれないけれど。

ワクチン４回目接種を終えました。この度はモデルナ。今まで３回はファイザーでしたが、特に変わりなく過ごしています。思い当たるとしたらほんのちょっとだけボーッとした時間があったかな･･･。しかもそのタイミングで携帯電話を替えたという先輩から、「通話アプリどうやって繋げるんだ？」と頼まれ、いつもは慎重に使っているのに、思わず友だち追加の操作をしてしまい。一瞬で電話帳が･･･。あわてて片っ端からブロック。きっと届いた人怒っているだろうなあ。勝手に誘って勝手にブロックするなんて。ごめんなさい。しかも、その先輩とは繋がらず、というおまけまで。たぶん前の日の寝不足が原因でしょう。反省です。ICT云々などという以前の問題でした。猛省。

